

平成 31 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取 組 の 内 容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>①基礎学力の定着、専門教育の充実、共通教科と専門教科のバランスに配慮した教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的行動の促進を図る。</p>	<p>①新学習指導要領に基づく、新たな時代の工業高校にふさわしい教育課程の枠組みの完成を目指す。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等を生徒が主体的に取り組めるような環境づくりを行い支援する。</p>	<p>①共通教科、専門教科それぞれの新たな必修科目、選択科目の配置を踏まえて、適切な教科のバランスを検討し、各学年に担当する単位数を決定する。</p> <p>②学校行事や生徒会活動が主体的かつ積極的に行われるよう環境を整え、体育祭・文化祭・球技大会等の行事に対する満足度が上がるように支援する。</p>	<p>①各学年における共通教科、専門教科それぞれの配当単位数が決定できたか。</p> <p>②学校行事や生徒会活動が主体的かつ積極的に取り組めたか。また、体育祭・文化祭・球技大会での満足度が 85%以上であったか。</p>
2 生徒指導・支援	<p>①基本的な生活習慣の確立に向けたきめ細かな生活指導に取り組むとともに、個に応じた支援のための組織的な教育相談体制を確立する。</p> <p>②部活動の活性化を通して、生徒の達成感・連帯感・責任感を涵養する。</p>	<p>①身だしなみ指導を充実させ、効果的な指導になるように努める。</p> <p>②部活動加入率の向上と定着を目指し、年間指導計画を基にした計画的な活動により、生徒の安全と健康を守り、部活動の活性化を図る。</p>	<p>①身だしなみ指導の事後指導を充実させる。各身だしなみ指導の結果をまとめ、効果を検証する。学期始めの学年集会を効果的に使う。教育相談を充実させる。</p> <p>③ 部活動 PR 動画を活用し、新入生にわかりやすく部活動紹介をおこなう。学校説明会では部活動見学会を行い、中学生に活動の様子をみてもらい、興味をもってもらおう。HP では部活動の活動の様子をアピールする。また、「部活動に係る活動方針」に基づき、部活動の活性化を図る。</p>	<p>①身だしなみ指導により、生徒が改善されたか。学年集会を効果的に利用できたか。事故件数が前年度比較でどうであったか。</p> <p>②部活動の加入率を 70%以上にする。また、生徒の健康と安全を守るため、休養日として、平日 52 日、土日 52 日以上取れたかを検証する。</p>
3 進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの進路実現に向けた指導・支援の充実を図る。</p> <p>②これからの時代を生きて行く上で必要な資質・能力を育成するためのキャリア教育を推進する。</p>	<p>①地域の企業との連携によるインターンシップやコンソーシアムを充実させる。</p> <p>②キャリア教育実践プログラムを実施していく。</p>	<p>①県西地区インターンシップ連携推進連絡協議会や地域の企業とも連携し、参加人数の更なる増加を図る。また、保護者の勤務先等にも連携を呼びかける。</p> <p>②各教科によるキャリア教育実践プログラムを検証していく。また、企業や上級学校とも連携し、卒業生を招いた進路懇談会を引き続き実施する。</p>	<p>①インターンシップの参加者は各科ごとに 6 人程度、合計 25 名以上を達成できたか。</p> <p>②各教科によるキャリア教育実践プログラムの検証ができたか。進路懇談会やガイダンス等で生徒の進路に対する意識の向上を 90%以上図ることができたか。</p>

4	地域等との協働	<p>①地域産業・地域社会との連携・協働による教育活動の充実に取り組む。</p> <p>②地域や中学生に工業高校の魅力・特色を発信するため広報活動の充実を図る。</p>	<p>①自己肯定感を育み、地域と連携した教育活動を推進する。</p> <p>②生徒がより充実した学校生活を実感できるように、PTAと連携する。</p> <p>② 県西地区及び近隣地区の生徒数が減少している厳しい状況を受止め、危機感を持って志願者の確保に向けて、本校の魅力や特色を発信していく。</p>	<p>①工業高校の特色を生かし、地域と連携したものづくり活動およびアンケートを実施する。</p> <p>②各種学校行事をとおしてPTAと連携し、生徒の学校生活の充実を図る。また、PTAの活動をとおして満足感や理解を得られるように努める。</p> <p>②中学校主催の説明会に積極的に参加し、中学校訪問も行う。また、中学校教員や学習塾も学校説明の対象とする。また、HPの運用がCMSへ移行するに伴い、HPの全面リニューアルを図り、より効果的な情報発信と迅速な更新方法を導入する。</p>	<p>①地域と連携したものづくり活動への参加生徒数は増加したか。地域住民の評価は良好か。</p> <p>②保護者の学校行事等への参加率や活動に対するアンケート等での評価は良好か。</p> <p>②学校説明会等への来場者数とそのアンケート等の評価及び近隣中学校などの評価は良好か。また、HPのアクセス数とCMSへ完全移行できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒が安心して学校生活を送れるよう学習環境の整備、防災体制の整備に取り組む。</p> <p>②研修による意識啓発、業務の共有・協働・効率化を進め不祥事を未然に防止する。</p>	<p>①防災体制の整備をし、生徒、職員が高い防災意識を持って学校生活を送れるように努める。</p> <p>②研修をとおして職員の意識の向上に努め、事故を未然に防ぐように努める。</p>	<p>①昨年度作成した避難所初動対応マニュアルを地域や社会のニーズに合わせたよりよいものにする。また、防災倉庫の整備をし、災害時にスムーズに防災体制が取れるようにする。</p> <p>②定例の事故防止会議をとおして、職員間で問題意識を共有するとともに、職員の意識を高める。</p>	<p>①高い意識を持って防災訓練等に取り組めたか。地域との合同防災訓練へ多数参加したか。防災倉庫がきちんと整備できたか。</p> <p>②個人情報について不適切な取扱はなかったか。また、起案などの行政文書が適切に管理され、次担当者に引き継がれたか。</p>